

# 3月 水稻生産情報

令和3年3月号  
J A つがる弘前  
岩木地区営農係

美味しいお米を安定的に生産するには、気象変動等に負けない『丈夫な苗づくり』が重要です。『丈夫な苗づくり』へ向けて、下記の作業スケジュールを目安に種籾や培土等の準備を進めましょう。

## 1. 今後の作業スケジュール目安(田植え時期が5月20日の場合)

3月20日頃

塩水選

～塩水選で充実した種籾を選別しよう！～



下記の通り調整した食塩水に種籾を入れ、浮き上がったものは取り除きましょう

- うるち米……水 10ℓ + 食塩 2.1 kg (比重 1.13)
- もち米 ……水 10ℓ + 食塩 1.2 kg (比重 1.08)

※塩水選後、種籾に付着した塩水は洗い流してください。

3月20日頃

種子消毒

～病気の無い健康な苗をつくるために～

① テクリードCフロアブルを使用する場合  
テクリードCの200倍液に24時間種籾を浸漬する。薬液20ℓで種籾20kgを消毒できます。  
※20ℓの薬液を作るにはテクリードCが100cc必要です。

② モミガードC水和剤を使用する場合  
乾燥籾重量の0.5%の量を種もみにまぶします。モミガードC 100gで種籾20kgを消毒できます。

3月31日～4月13日

浸漬

～十分な浸漬で発芽を揃えよう～

① 浸漬期間は10～14日程度  
浸漬は平均水温の積算で100℃を確保しましょう。低い温度での浸漬は出芽不良や出芽遅れの原因になります。水温は10℃以下にならないよう気をつけましょう。

② 水の交換は、3日に1回  
水の交換は初めの2日間を行わず、その後は3日に一回の間隔で交換しましょう。その際は種籾の上下の入れ換えも行いましょう。

4月14日頃

催芽

～目標はハト胸～

30～32℃で16～20時間処理しましょう  
40℃以上になると発芽能力が低下します。  
※芽の伸ばしすぎは芽の欠けを助長します。伸ばしすぎないように気をつけましょう

ハト胸

○ 

✕ 

4月15日頃

播種

～1箱約120g～

催芽籾は1箱当たり120gを目安に播種しましょう。厚播きは、徒長苗やムレ苗の原因となります。

## 2. 苗箱と本田の準備

4月10日頃

床土・置床の準備

～苗箱の目安は35枚/10a、準備は計画的に～

床土	資材名		箱当り使用量	製品1袋(本)当りの箱数	
	山土	サイコー11号		20g	5kg当り250箱
どちらか		土壌混和	ナエファイン粉剤	8g	1kg当り125箱
		播種時灌注	ナエファインフロアブル	2000倍液 1L	100ml当り200箱
人工培土	無肥料培土 ※肥料が入ってません。上記のようにサイコー11号を施用しましょう。		床土2.7kg	20kg当り約5.7箱	
	軽量培土		覆土0.8kg		
	苗の土		床土1.0kg	20kg当り約11箱	
			覆土0.75kg		
	どちらか		床土2.1kg	20kg当り約6箱	
			覆土1.2kg		
どちらか	土壌混和	ナエファイン粉剤	6g	1kg当り166箱	
	播種時灌注	ナエファインフロアブル	2000倍液 1L	100ml当り200箱	

**置床の準備(折衷苗代の場合)**

- 置床へサイコー11号を1坪当たり500g施肥しましょう。
- 置床は育苗箱の底が密着するよう均平にしましょう。

4月中旬頃

本田の土壌改良

～ケイ酸資材で胴割れ軽減！～

品名	1袋当りの成分量(kg)	袋数(10a)		
		つがるロマン	まっしぐら	青天の霹靂
スーパーケイサン	ケイ酸6.0、リン酸1.2	2～3袋	2～3袋	青天の霹靂 土壌診断に基づく

○ケイ酸資材のワンポイント  
ケイ酸を施用することにより、葉身が厚くなり高温下でも光合成が促進され、病気に強く、胴割れ粒発生の軽減にもつながり、品質の良いおいしいお米に仕上がります。  
※青天の霹靂を作付する場合は、土壌分析の結果に従いケイ酸質資材を施用してください。